兵庫県商工新聞

編集
兵商連新聞編集委員会

発行
兵庫県商工団体連合会
〒652-0811
神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎（078）341-0563（代）
FAX（078）341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email:info@hyoshoren.co.jp

2025年10月
第398号
〈部内資料〉

～市民にあたたかい神戸へ～
物価高騰からくらし守る市政を

総務省官僚の現職・久元市長は、自民党政権の後押しを受け神戸市長に就任しました。以来3期12年の市政運営は、歴代自民党政権の政策に追随してきました。

都心・三宮巨大開発や大阪湾岸道路、国際コンテナ戦略港湾に神戸空港国際化など財界・大企業のための大開発、市民の公園等の公有地を民間大企業に差し出すなど、企業の利益最優先の放漫財政を続けています。一方、市民の暮らしに対して、物価高騰のなかで公共料金値上げやサービスの削減、下水道などのインフラ整備は後回し。給食費の無償化や、自ら公約に掲げた子どもの医療費無料化にも背をむけたままです。

兵商連第３回常任理事会（９月１６日）

また、憲法集会の後援拒否、自衛隊へのデータでの名簿提供、そして、非核「神戸方式」50周年を迎えた今年3月にアメリカ艦船「ウォーリア」の非核証明書なしでの入港など、アメリカいいなり日米軍事同盟絶対の態度で平和行政を壊し続けています。

そのような中、10月12日告示、26日投票で、神戸市長選挙が行われます。

民商・兵商連も加入する「市民にあたたかい神戸をつくる会」は、「市民の願いがかなう、神戸市政に転換しよう」と呼びかけています。そして、兵庫県労働組合総連合・事務局長の岡崎ふみのりさんを市長候補に擁立し、「10・26神戸を変えよう」と、宣伝・対話を広げています。

【岡崎ふみのり】
経歴／1968年12月19日生まれ。2021年神戸市長選立候補。兵庫県労働組合総連合事務局長。中央区港島中町在住。

中小業者支援こそ！

9月16日に開かれた兵商連第3回常任理事会に参加した岡崎ふみのりさんは、「賃上げ支援金として1人10万円、中小事業者をしっかりサポートしていきたい。参議院選で多くの市民が要望した『消費税減税』は、ただちに実施できるよう、神戸から声をあげよう」、「中小業者の皆さんが元気でこそ、神戸経済が生き生きとし、雇用も増える。市民の声を聞き、希望あふれる神戸にしていきたい。応援、お願いします」と決意を語りました。

あったか神戸 9・23決起集会

9月23日午前10時から県学校厚生会館で開いた決起集会には、110人以上が集まりました。

保育の問題、三田市民病院と済生会病院の統合問題、返済不要の奨学金の創設など、参加者から切実な要求が語られました。

「告示までにしっかり音の出る宣伝もし、構成員対話を広げよう。ライン公式にまず登録し、多くの友だちに拡散を」と行動の意思統一。閉会のあいさつを行った医師の藤末衛さんは、「30年前の神戸の苦しみを知らない市長、アメリカと大企業言いなりの市長はいらない。岡崎さんを市長に押し上げよう」と訴えました。

“飛び出す”市役所から市民の中へ

みなさん、こんにちは。神戸市長選挙に挑戦します、岡崎ふみのりです。

いまの神戸、市民のみなさんの声が本当に届いているでしょうか。

物価がどんどん上がり、家計は苦しくなる一方、水道料金の値上げや市バスの便は減らされ、国保料は引き上げられました。「普通に暮らすことさえ大変」――そんな声を、私はあちこちで聴いてきました。

それなのに神戸市政は、市民の声に耳を傾けず、大企業のもうけや国の言いなりで、大型開発に税金をつぎ込むことばかりです。

三宮大開発やウォーターフロント、空港の国際化に巨額のお金を使いながら、子どもや高齢者の願いには背を向けています。こんな市政を、このまま続けていいのでしょうか。

私は、神戸を「市民にあたたかいまち」に変えたい。子どもが伸び伸びと育ち、安心して医療が受けられる。

若者が将来に夢をもち、働きながら希望を描ける。年をとっても、交通手段や医療で困らず、地域で支え合いながら暮らせる。そのためにこそ、税金の使い方を根本から切り替えるときです。

神戸はもともと、多様な人が集い、力を合わせて築きあげてきたまちです。阪神・淡路大震災から30年、復興を進めてきたのも市民の力でした。

だから私は信じています。市民の声を聴き、市民とともに歩む市政に変えれば、神戸は必ず新しく、力強く生まれ変わります。

戦争に協力するのではなく、平和を守り抜くまちに。一部の利益のためではなく、すべての市民が「ここに住んでよかった」と心から思えるまちに。

私はその先頭に立ち、みなさんと一緒に「あったかい神戸」を実現していきます。

どうか力を合わせてください。神戸を変えることができるのは、市民のみなさんの声と一票です。その一票で、未来を切り開きましょう。どうぞよろしくお願いいたします。

私たち中小業者の要望

- 中小業者への直接支援を創設してください。
- 賃上げを実施した市内中小業者に対する支援制度をつくってください。
- 国保制度が都道府県化に移行した後も、神戸市独自の条例減免制度を継続してください。
- こうべおうえん融資の全額信用保証料補助を継続してください。

もうかりまっか 商

▼増税しかしてこなかった自民党政府の罪は大きい▼テレビや新聞などのオールドメディアが食品や生活用品などの価格高騰をさも大きな問題のように取り上げているが、物価高より問題なのは40年間もの間日本経済の成長を妨げ続けている経済政策ではないか▼世界中に経済損失を与えたリーマンショックでさえ実質民間消費支出の減少額は4・1兆円。それに比べて消費税を5％に引き上げた1997年は7・5兆円、8％に増税した2014年は10・6兆円、そしてコロナ禍で大きなダメージを受けているにも関わらず10％に増税した2019年には18・4兆円に実質民間消費支出が減少している▼庶民を苦しめる逆進性を持った消費税は今すぐ廃止すべきだ▼消費税を廃止すれば諸費が増え経済が回りデフレからインフレに転換し法人所得も個人所得も増えるはず▼そもそも目的税では無い消費税なのに「消費減税をすれば社会保障費が減る」という大嘘をつき続ける政府と政府の嘘を煽り続けるオールドメディアに騙されないようにしたい。（H）

秋の運動スタート

消費税減税・インボイス廃止、民商を強く、大きく

連帯した行動で、民商を知らせよう

神戸西ブロック宣伝カー運行

9月14日の神戸西ブロックの宣伝は、須磨民商4人、垂水民商2人、神戸西民商3人、神戸北4人、県連1人の計14人が参加しました。民商宣伝カー5台が各区ごとに地図で回るところを決め、宣伝カーを運行。「消費税・インボイスのことは民商へ」と皆で協力して地域に民商の風を吹かせました。

神戸東ブロック宣伝行動

神戸東ブロックは15日、商店街宣伝を実施し、灘、葺合、兵庫、県連から5人が参加しました。宣伝は各区の台所、水道筋商店街、大安亭商店街、春日野道商店街、東山商店街、マルシン市場で行い、参加者は民商の宣伝リーフレットを1000枚配布し、「経営の相談は民商へ」と商店街のお店で対話。同時に県連宣伝カーも運行し、商店街に民商の存在をアピールしました。

拡大リレーも開始

阪神ブロックは、三田民商からスタート。

三田民商は読者1人、署名30人分を集め、芦屋民商に引継ぎました。「兵商連の新しい試み、ブロックでの『拡大リレー』。成功にむけ頑張りましょう」と。バトンを渡しました。芦屋民商は読者1人を増やし、宝塚民商にバトンを渡しました。「会長と事務局長が先頭に立って拡大リレーを成功させよう！」と次の民商へのエールを送ってくれました。

神戸ブロックでは、神戸西民商は読者1人、青年部員1人を増やし、垂水民商へ。

東播ブロックでは、明石民商は役員会で署名を44人分集め、次の三木民商にバトンタッチ。「『泉ふさほさんに託します』と表紙をつけた署名セットを600つくり、役員には5セットずつ持ってもらいました。3日の理事会で役員から署名を集めることができました」と取り組みの報告が届きました。

西播・但馬・淡路ブロックでは、姫路民商は読者・会員・共済加入者を増やし、揖宍民商へバトンを渡しました。揖宍民商は役員会で新しい統一署名を皆で書き、署名30人分を集め次の相生民商へ。「お待たせしました」とバトンを渡しました。

さらに青年部活動を盛り上げよう

【兵青協第50回定期総会】

兵青協は8月31日、第50回定期総会を開き、37人が参加しました。石橋亮副会長が主催者のあいさつを行い、兵商連土谷洋男会長、日本共産党の庄本えつこ県議会議員が連帯のあいさつを行いました。

活動報告・運動方針の提案を、吉田優一会長代行がプロジェクターを使って昨年の取り組みを報告。そして「今秋に全青協50周年ウエルカム企画が開かれます。青年部のことを知ってもらえる絶好の機会ですので、みんなで盛り上げましょう」と訴えました。分散会では、「子どもが喜ぶ企画が多いので、まだ参加していない人にも声をかけたい」「県青協の会議に参加していない民商に参加を呼びかけよう」などの意見が出されました。

新役員を代表し、石橋会長が「会長と事務局長が新しくなり、これまで積み上げてきたものは引き継ぎながら、多くの人から意見をいただいて、さらに青年部活動をもり上げていきたい。今年1年よろしくお願いします」とあいさつ。

総会方針案を満場一致で採択し、運動の先頭に立つ新役員を選出しました。

経営情報

政府は昨年、物価高騰対策を名目に所得税3万円と住民税1万円の定額減税を実施。税額から減税し切れない額は給付で対応するとしました。白色申告事業専従者と青色申告の一部事業専従者は不足額給付の対象ですが、支給要件の確認・申請が必要です。

相談は民商へ。

編集後記

参議院選挙で多くの国民が望んだ消費税減税。税金の民商が先頭に立ち、会員から地域の中小業者、市民へと対話を広げ、実現を切り開くことが大切です。

力を合わせ奮闘しましょう。（N）

平和と憲法を守ろう

倉敷民商弾圧事件、「禰屋町子さんは無罪」

神戸元町大丸前宣伝

事件発生から11年、倉敷民商弾圧事件、禰屋裁判差し戻し審は、「さぁ、次は弁護人側の証人」だったはずが、検察の執拗な証拠書類の提出が続き、公判の予定が立っていない状況です。

「早く公判日程を決め、弁護側の承認を」、「立証計画に失敗した検察を、裁判所は擁護するな」、「禰屋さんは単なる参考人。無罪判決を早く出して」と、全国各地で岡山地裁要請が強まり、支援の輪が広がっています。

淡路・洲本イオン前宣伝

倉敷民商弾圧事件無罪を勝ちとる兵庫の会は、9月2日を中心に、全県一斉宣伝を呼びかけ、13カ所、31団体94人が参加し、700枚以上のビラを地域に配布しました。

東灘区阪神魚崎駅前では、「高校生ぐらいの若者がチラシをとってくれた」と。神鉄鈴蘭台駅前では、「わざわざ車から降りてビラを受け取りに来た人もいた。『警察、検察は嘘つき』と通り過ぎた方もいた」と報告も。

兵庫の会では、禰屋町子さんを招き、各地で集会を開くなど、次の取り組みも計画しています。

この事件はえん罪です。禰屋さんの無罪を勝ちとるため、力を合わせましょう。

姫路駅前宣伝

私の商売ものがたり

NO.271

一人ひとりに寄り添う美容室

渡邊　龍さん
（美容）
灘民商

阪神岩屋駅から東へ徒歩5分のところに、髪質改善の隠れ家サロン「hair for Brio´s（ヘアーフォーブリコス）」があります。開業して13年。お店の強みは、顧客の希望や悩みに寄り添い、カウンセリングを通じて、カラーやパーマ、エイジング等による髪のストレス改善、質を優先した施術が地元の方々にも喜ばれています。

「民商とは独立前のお店からの付き合いです。コロナ禍で営業が出来ない時、支援金などの手続きを助けてくれました。それを契機に経営のことを勉強し、念願の夢であった自分のお店を持つことが出来ました」と渡邊さん。

「美容業界では独立した方が自由な働き方と生活の安定につながるのでは。これからも地域のお客さんに愛される店をめざし頑張ります」と抱負を語ってくれました。

hair for Brico's
（ヘアーフォーブリコス）
神戸市灘区岩屋北町3-2-20
☎078-955-0619
定休日／月曜日